



自衛隊新潟地方協力本部

陸上自衛隊第12音楽隊メモリアルコンサート



隊員に質問する学生



手話通訳と要約筆記



迫力の演奏

新潟地本（本部長 1陸佐 小段雄三）は11月8日（土）、胎内市産業文化会館にて（胎内市社会福祉協議会主催）行われた第12音楽隊（隊長 1陸尉 富田淳子）による音楽演奏会を支援した。

これは、社協合併20周年記念胎内市社会福祉大会の第2部記念公演として行われたもので、来場者全員が内容を理解し楽しめるよう来場者への案内事項、公演中の曲紹介や歌唱など全てにおいて手話通訳と要約筆記が行われた。

開演前には地元の中条高校吹奏楽部員がリハーサル見学を行った。本番同様の緊張感溢れる雰囲気にも真剣な眼差しで演奏を見つめた。リハーサル終了後にはパートごとに分かれて音楽隊員と直接交流する時間が設けられ、基礎練習や演奏法などのレクチャーを受けた。

演奏会の冒頭、第12音楽隊の司会者である矢野3陸曹が「やの ゆみです。」と手話で自己紹介を披露すると、来場者から大きな拍手が送られた。楽器の響きや音色、リズムを堪能できる曲や誰もが知るテレビでお馴染みのJ・POP、大人気のゲーム曲など幅広いジャンルの曲が次々と披露され、ザ・ドリフターズや松平健に扮した隊員が登場し、趣向を凝らした演出に来場者は手拍子をするなど大盛況を博した。音楽隊に、惜しみない万雷の拍手が送られ演奏会は幕を閉じた。

新潟地本は「今後も地域と連携した音楽演奏会を行い、自衛隊に対する理解を深めていきたい。」としている。



シロフォンデュオ



音楽隊へ花束贈呈



趣向を凝らした演出